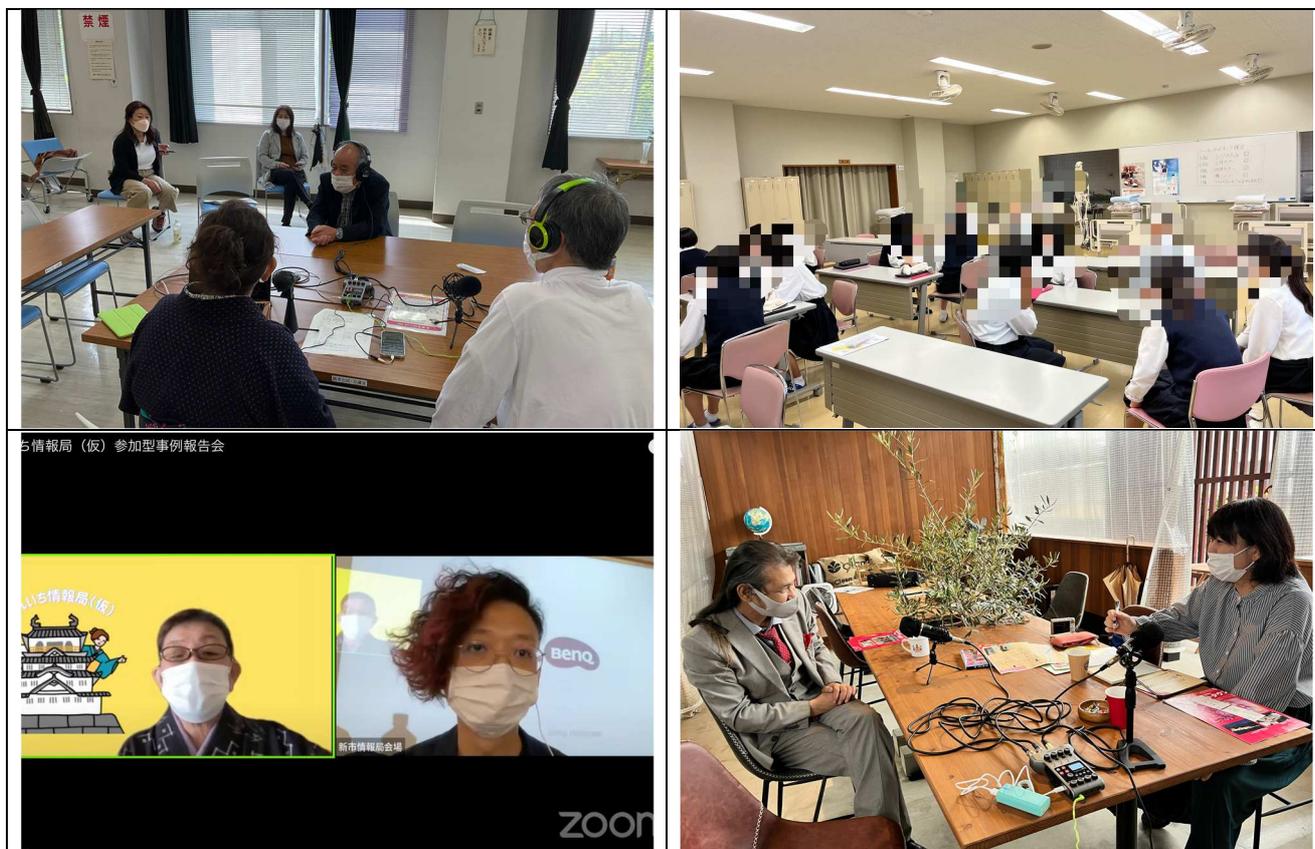


2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人エンディングノート普及協会
活動テーマ	会えなくてももしっかり繋がる「音声 SNS」を活用した新しい地域コミュニティづくり



活動地域であった広島県福山市新市町は西日本豪雨の被害や影響もあり、災害に強いまちづくりに向けて取り組みを進めてきましたが、2020 年からのコロナ禍で地域の集会や公民館活動が中止を余儀なくされ、地域の人と会わない、集まらない期間が長引くにつれて地域コミュニティが崩壊するのではないかと危惧感が高まりました。

そこで、音声配信アプリ [stand.fm](#) を活用した「会えなくても繋がることのできる新しい形の地域コミュニティのあり方」を模索することにしました。

スタート当初は高齢化が進む地域でスマホでラジオを聴くという習慣がない人たちに、どのように普及していくのか？が課題となりましたが、地域の方を番組にゲストとして出演していただき、身近な人たちの声がスマホから流れてくるということで、シニアの方もラジオに関心を持ってくださる方が増えました。

また、併せてシニア向けに超初心者のためのスマホ講座を開催しました。今回は計画にはありませんでしたが、町内の県立高校から地域の課題解決活動に参加したいとの申し出があり、デジタル化が進む中でシニアが情報弱者になっているという課題を解決するために、スマホ講座を協働で行えたことは、当協会にとっても地域を引っ張っておられる皆さまにとっても大変意義のある活動となりました。

10 月の参加型事例報告会当日は主催者である理事長の赤川が新型コロナに感染して自宅待機となるなか、予定通り会場と自宅をオンラインで繋いで報告会を開催。このことは「会えなくても繋がる音声配信アプリの活用は、新しい地域コミュニティの再構築に繋がる」ことを実証したとも言えます。

取材やインタビューを通して、これまで知らなかった町内の情報を知ることができたり、情報を提供するという形で参加してくださる方が増えたり、地元の方たちを巻き込みながら、参加型で活動していくことはこれからも継続が必要だと感じます。

全国でもデジタル化を急ピッチで進めている福山市で生活するすべての人が、取り残されることなく便利で豊かな生活を送ることができるように、また少子高齢化、人口減少が進む地域であっても会えなくても繋がることのできる！という地域コミュニティを再構築するための活動を続けたいと思います。